

顧問作品解説

粛々たる

美術室に差し込む美しい光を使って仕上げた組写真。静謐な時間を感じさせる作品となった。4枚組は、起承転結の構成になることが多く、その場合にカギになるのが転となる3枚目。この写真では、左下にあたるが、この写真が、作品全体の印象を決定したと言える。強烈な光を受けながら、絵筆？を持って立つシルエット。凜とした姿が、粛々と絵画の世界に向かう姿を思わせる。さらに結となる4枚目では、やや引いた構図で、そっとその姿を見守る撮影者の姿も想像できるし、美術室という場の雰囲気も伝わってくる。自分のフィールドを生かした秀作となった。

